

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

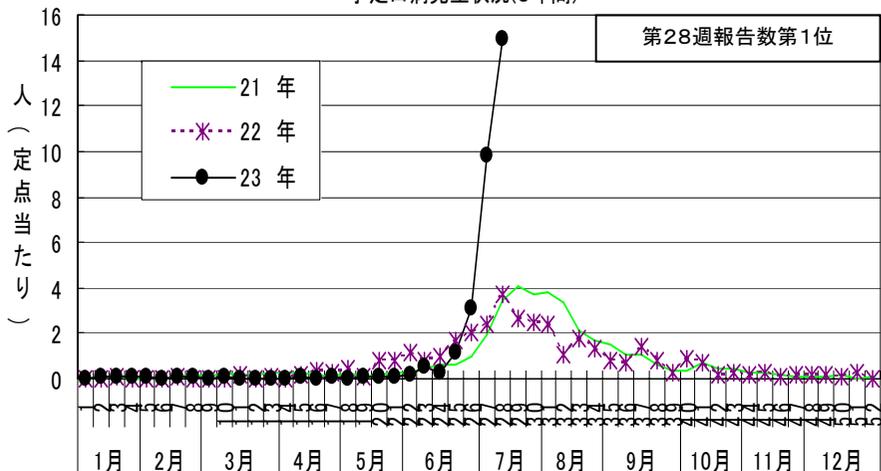
平成23年7月11日（月）～7月17日（日）〔平成23年第28週〕の感染症発生状況

第28週で定点報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)ヘルパンギーナ 3)感染性胃腸炎でした。

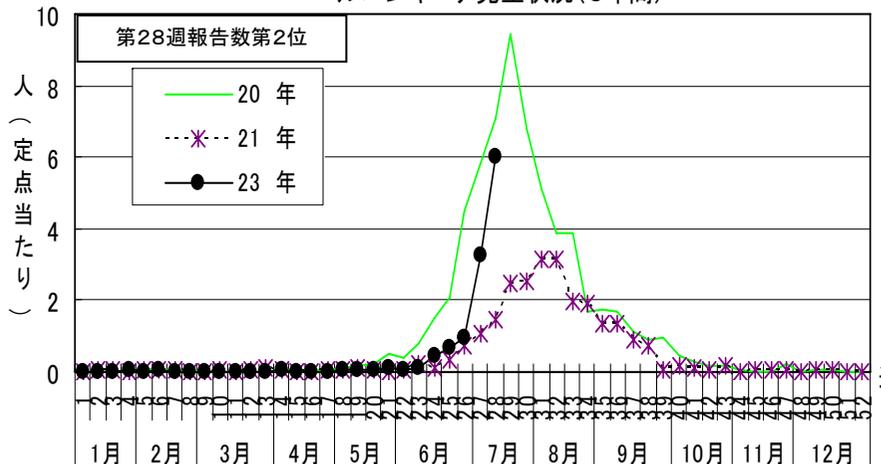
手足口病は定点当たり14.97人と前週（9.81）より患者報告数はさらに増加し、平成11年のデータ収集以来、過去最多の患者報告数を2週連続で更新しています。例年7月から8月にかけて報告数が多い疾患ため、引き続き発生動向に注意が必要です。

ヘルパンギーナは定点当たり6.00人と前週（3.25）より患者報告数は大幅に増加しています。手足口病と同様に夏かぜの代表疾患であり、今後も患者報告数が増加する可能性がありますので、引き続き注意が必要です。

手足口病発生状況(3年間)



ヘルパンギーナ発生状況(3年間)

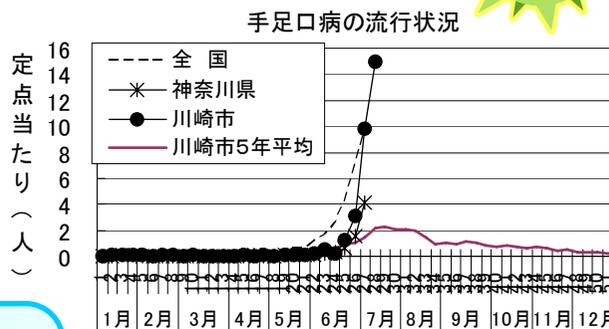


## 手足口病の流行に注意しましょう！！

～過去最多の報告数を更新しています～



6月下旬から患者数が増加し始めた「手足口病」患者の報告数が、前週に引き続き、過去最多の報告数を更新しています。みんなで予防対策を徹底し、自分が感染しないように、また周りの人に感染させないように心がけましょう。



### 手足口病ってどんな病気！？

手足口病は、例年報告数の90%前後を5歳以下の乳幼児が占めています。

感染してから約3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足背などに水疱性発疹が出ます。約3分の1程度の患者に軽い発熱がみられますが、あまり高くないことが多く、通常は高熱が続くことはありません。

ほとんどの場合、数日間のうちに回復する感染症ですが、まれに髄膜炎などの中枢神経系の合併症が出る場合がありますので、高熱・頭痛・嘔吐などの症状を伴っている場合には医療機関に受診しましょう。



### 気をつけたいこと！！

- 手洗いの徹底と便などの排泄物の適切な処理が予防対策の基本です。
- 口の中に発疹ができると、痛みにより飲食できなくなることがあるので、脱水症に注意しましょう。
- 症状が回復した後も、1ヶ月程度ウイルスが便中に排泄されることがあるので注意しましょう。